

人の役に立つ技術・サービスを提供できる企業に

-海外進出はコストダウンだけではない-

第16回「泣き笑いシリーズ」のテーマは“海外進出”です。オンライン研究会でも活動されている東大阪西支部の阪和化工機(株)の町井秀年社長にインタビューしました。

阪和化工機(株)は、流体解析などのオンリーワン技術を世界にアピールする老舗の攪拌機メーカーです。液体を扱う化学や製薬、食品関連の顧客の多様なニーズに対応して、オーダーメイドで攪拌機を供給する企業姿勢は高い評価を受けています。また、タンクとセットで攪拌機を販売する新たなビジネスも展開しており、技術力に対する信頼もさらに厚くなっています。

海外事業を強化する戦略で、中国(上海)に現地法人を立ち上げ生産拠点としていましたが、中国の物価上昇のため、7~8年前から、コストの合わない時代になってきました。しかし、中国の物価上昇を購買力の高まりととらえ、中国を市場と考え、生産拠点はベトナムへシフトすることを決断しました。

中国との政治的関係がぎくしゃくする中、チャイナ+ワンとしてベトナムを選択された町井社長。どんなエピソードが聞けるか楽しみです。



阪和化工機(株)
東大阪西支部
町井 秀年氏

同友会会員へのメッセージ

私たち中小企業であれ大企業であれ「商圈」という言葉で、自分の囲いを作ってしまう企業が多いと思います。しかし、そのマーケットに挑戦している企業もあります。

たとえば、和歌山県海南市の山の中にあるパン屋さんは、大阪や奈良などの県外からひっきりなしに車で買いに来られ、午前中にはほとんど売り切れるそうです。

岡山県石見銀山の麓にある義肢を作っている会社は、日本中から入社希望者が集まり、世界中からお客様が来られるとのこと。また、ブルドーザーを作っている小松製作所さんはいま、アフリカ中部のナミビアという聞いたことのない様な国で活躍されています。経営者はつい「景気が悪い」「業種が悪い」「ロケーションが悪い」と他のせいにしがちです。しかし商圈を決めるのはお客様であり、人の役に立つ物や感動をもらえる物や技術・サービスを提供出来れば必ずやその企業は世間から評価され実績に繋がっていくと思います。弊社もそんな会社になっていけばと考え、社員さんと共に成長していきたいと思っています。



ベトナム支店

「泣」

ベトナムに進出した理由に中国の件費の高騰があります。もちろんそのことは、少しずつですが確実にベトナムへも押し寄せてきています。ただ、このことはベトナムに限ったことではないですね。

いろいろな部品が手に入った中国に比べ、一部の部品ではベトナム国内での調達が困難です。日本や中国からまだまだ輸入をしないとイケない状況です。ですから、時間がかかることもあります。その時間的ロスの原因に交通マナーの悪さもあるかもしれません。器用な国民のはずなのに、ここの部分はなぜか中国を見習ったみたいですね。



ベトナム支店



オールステンレス製
HLTシリーズ 攪拌機

「笑」

まず、ベトナムで驚かされることは、彼らの器用さです。中国ではなかなか品質が進歩せず目を離すと後退する場面がよくありました。しかし、ベトナムでは最初は時間がかかるけれども、正確なものづくりができるようになります。

工場環境の改善を求めると、必ずと言っていいほど改善されます。以前、彼らに日本の本社を見学させると、戻るとすぐに棚がでけ部品や工具が整理整頓されます。本社もうかうかしていると抜かれてしまうかもしれません。それくらい彼らの向上心は素晴らしいものです。それが、ベトナム進出の決め手とっていいでしょう。

また、進出して感じたことですが、「ベトナムは契約社会」です。雇用する時も、詳細まで契約を結びます。社員もそうですから、もちろん協力工場ともです。これが、約束を守るという日本人の気質にも合致するのだと思います。

「取材を終えて」

ベトナムの件費高騰の対応として、フィリピンも視野に入っているとのこと。人口のピラミッドが見事に円錐形。以前は国内の治安に問題があり、外国企業の進出が少なかったため、国内の労働力は、英語を学び海外に出かけることが多かった。ところが、治安が回復し、フィリピンは発展期を迎えるだろうということだ。

製造業において、件費の高騰は避けることのできない問題です。次から次へと安い国を探していくしかないのでしょうか？国内から韓国、中国。アセアン。そしてインドからアフリカへ。いたちごっこのように思っていました。しかし、町井社長は件費だけを追いかけるのではない。その地域に新たな産業や文化の基礎に関わっていくのだと言われます。

個人的に、海外進出は安い件費を求めると意識を強く持っていただけに、町井社長の考えは心を揺さぶられるものでした。会員企業を訪問することの意義を再確認させてもらいました。